

令和3年度へ向けて

先週卒業した3年生は38名でしたが4月に入学する1年生は、現段階で37名の予定です。(年度末の転勤や異動等で、これから増減があるかもしれませんが・・・)令和3年度は今のところ、今年より1名減の112名でのスタートとなりそうです。

さて、来年度の学校生活の面で、2点、変更点がありますので、在校生とその保護者の皆様には、先んじてお知らせいたします。

(1) 紅白帽子について

現在、在校生が保健体育や掃除の時間にかぶる紅白の帽子ですが、2月下旬に代理店から、新入生への販売に際し、「女子用の帽子の生産が中止となり、もう販売できない」との連絡がありました。

学校生活の中で、例えば保健体育のゲームでのチーム分けは、紅白帽ではなく色違いのビブスで行っており、帽子はそれほど必要不可欠なものではありません。ですので、今回の生産中止を受け、令和3年度からは全校一斉の形で、男女とも紅白帽をかぶる必要はないということとします。

真夏に日差しが熱い場合など、かぶりたい生徒はかぶってかまいませんので、そこは自分で判断してください。



(2) 校外クラブ所属生徒の学校部活動への所属について

今年度、校外の運動系のクラブ等に所属している生徒は、サッカーや野球、ソフトボールやテニス、卓球や空手など全部で10数名、割合でいけば1割以上います。こうした校外クラブ等での活動のため、学校部活動に所属していても実際には活動できない状況だったり、所属が形式的なものとなっていたりする生徒もいます。

本校では、これまで「部活動全員加入」を原則として勤めてきましたが、来年度より、一人一人の状況に応じて、学校部活動へは所属しないと

いう形も例外的に認めていきたいと考えています。

例1) サッカーの場合、協会の規定により1チームにしか登録が許されていないため、校外クラブの試合にしか出られない生徒がいます。平日や土日に練習があるため、学校のサッカー部に所属しても、練習もほとんど参加できず、中体連大会や部活動の練習試合にも出場できません。

こうした生徒は、中体連大会等ではユニフォームを着ることもできず、試合にも出られないため、あくまで補助役員としてサッカー部員と一緒に随行していました。でも、そうした形での参加を希望しない・校外クラブに専念して活動したいという方向で考えている場合には、学校部活動への所属はしない形で例外的に扱います。

例2) 学校にない種目の校外クラブに所属し活動している場合、校内では他の種目や文化系の部活動に籍をおいています。

こうした生徒で、その学校部活動の活動内容には、本音を言えばあまり興味がない場合などについては、無理をせず、学校部活動への所属をしない形で例外的に扱います。

例1・2のいずれの場合においても、校外クラブ等の活動に「熱心に、継続して取り組んでいる」という実績と、保護者と本人の意志が一致していることが条件となります。

こうした場合には、保護者から学校へ個別にご連絡をお願いいたします。校内外に関わらず、自分の好きなスポーツや文化的活動に熱中して才能を磨き、自分の個性を伸ばすことに専念するための特例措置となりますのでよろしくお祈りします。

なお、例外的に学校部活動に所属しない生徒については、授業日開催の中体連大会等が開催される日は、学校での学習・活動となります。

当然ですが、同じ種目で、特に協会の規定等がなく、校内外どちらの所属でも大会への出場や選手登録ができる種目の場合や、校外クラブと学校部活動が異なる種目でどちらにも興味があり、両立できる場合等については、学校部活動にも、校外クラブにも、どちらにも所属して、どちらも真剣に活動していくことももちろんOKです。

